

産業建設委員会記録

令和4年4月28日（木）
12時58分～13時59分
第4委員会室

- 【委員】 川上委員長、田畑副委員長
沖田委員、串崎委員、上野委員、布施委員、牛尾委員
- 【委員外】
- 【議長団】 笹田議長
- 【執行部】 佐々木産業経済部長、大屋商工労働課長
- 【事務局】 大下書記
-

議題

- 1 執行部報告事項
 - (1)道の駅ゆうひパーク浜田について

- 2 その他

以上

【議事の経過】

[12 時 58 分 開議]

川上委員長

ただいまから産業建設委員会を開催する。出席委員は7名で定足数に達している。マスク着用で聞きにくくなるため、発言は大きな声ではっきりとお願いする。

1. 執行部報告事項

(1) 道の駅ゆうひパーク浜田について

川上委員長

先般の産業建設委員会で調査することになっていた。執行部から説明をお願いする。

商工労働課長

(以下、資料をもとに説明)

川上委員長

皆から質疑はあるか。

沖田委員

売上額3億弱で今後推移していくという予想の中で、仮に公設民営化した場合、今想定する2億なのがしかの売り上げでこの企業は再生できると思われるか。

商工労働課長

もともと過大な設備投資と借入金が非常にあるので返済が非常に厳しい。今回、もしこれが公設民営化すれば、経費的には削減される。ただ、現況を鑑みてもコロナ禍でありさらにオリジンテも廃業している。新しく売り上げが上がる店舗が出てこないと非常に厳しいと感じている。

布施委員

議員になり経緯を知り、浜田の玄関として注目していた。集客施設として大事だと思うが、以前も指摘したが、今までの取り組み、道の駅の物販、おもてなしの顔である以上は、一番の稼ぎ頭であるレストラン部分、全国の道の駅を回っても食事が2階にあるのは足が遠のく。テナントは各種入れかわったが皆撤退した。飲食店は1階に移して収益の上がるフードコートをしっかりやれば長期的にはよいのではと社長にも言わせてもらった。しかしそこまでは取り組まれなかった。

産業経済部長

令和元年8月にゆうひパーク浜田は経営改善計画書を出された。それを見ても人員削減や経費削減はあったが抜本的な取り組みはなかった。そういった相談は今まで全くなかったのか。指摘を受けてそういう取り組みをしようという動きはあったのか。

布施委員

そのような相談はない。ただ、民設民営なので。市は筆頭株主であり監査役として副市長が出ているが、まずは民間企業の考えを優先している。経営環境が悪くなればある程度市も介入する必要があると考えている。

コロナ禍が経営難の一つの要因となっているが、抜本的に改善しないと。経費を抑えたりイベントをやれば少しは上向き可能性はあると思う。借入金残り3千万円の経営改善資金を返すのが目的ではない。民設民営だからできないではなく、公設民営化のお願いに来られているのだから市はもっと介入すべき。

- 上下分類方式にすると担保がないので、銀行も資金を貸してくれるとは限らない。そうなる浜田市が直営でやることになった場合に負担が非常に増える恐れがある。その辺もしっかり話し合ってやらないと。
- 産業経済部長 おっしゃるとおり、抜本的な改善が必要だと我々も思っている。山陰道が開通するし、道路に直結している立地条件のすごくよいところなので、やり方を変えれば収益がかなり上がる。今は経営陣の経営改革のなさをある程度指摘している。今言われたように、公設民営化の要望を受けて浜田市はこれからどうしていくか、いろいろ想定している。
- 布施委員 お魚市場との連携が必要である。地元民が来やすい道の駅に変身する必要がある。お魚市場はお魚市場でよい。道の駅に地元の人に来るような経営改善、品ぞろえ、そしてイベントなどをしっかり研究されて取り組んでほしい。そういう取り組みが経営改善に寄与するのでは。
- 産業経済部長 お魚市場ができたときに、ゆうひパーク浜田も連携しながらやってくれとお願いしているが、具体的な話は全くない。ゆうひパーク浜田もお魚市場もイベントをやっているが、連携しながらお互いに相乗効果を得られる手法を考えないといけないが、やはり別々の組織でそれぞれの利益があるので、難しい面はあると思う。しかし連携については再度話をしたい。
- 串崎委員 大事な施設なので継続していただきたい。浜田市の貸付残高は3070万円ある。借入が4億1千万とあるが、その中に市の3千万円があつたりするのか。この4億円自体はどこから借り入れされているのか。
- 産業経済部長 民間の金融機関から4億1千万円を別に借りておられる。浜田市の返済については残り2回、約3千万円である。
- 串崎委員 4億1千万円の中に浜田市の3千万円が入っていると。令和元年から2年で5千万円増えている。これはなぜか。
- 産業経済部長 これはコロナ背景の借入債である。
- 串崎委員 経営者が銀行から借り入れされたということか。はい。4ページの株式の変更について。3千万円程度をみずから出されたということで、最終的には823万円。ここで浜田市が840万円で筆頭株主になったというのが気になるが、何か意図があつて筆頭になったのか。自然になったのか。
- 商工労働課長 減資された経緯についてはこちらが深くかかわったのではない。もともと道の駅自体が市町村に類するような組織が設置するのが望ましいとして始まっている中で、民間企業と浜田市とが共同で進めていくには市が筆頭株主になったほうがよいのではということで減資とされたと同っている。
- 串崎委員 市が意図的にか。
- 産業経済部長 経営者側がそう言った。

牛尾委員	皆できないとなれば減資して会社が回せるようにするのである。
串崎委員	今回の陳情は、最終的には浜田市に買っていただきたいといったことが出ている。現段階で市としては前向きに検討するのか。もし前向きな検討になれば議会の承認も必要だろう。今の気持ちを聞きたい。
産業経済部長	担当部課は想定されるパターンを考えている。最終的には市長の判断である。担当部課としては要望された内容で進めたい。
田畑副委員長	公設民営となると建物を浜田市が買い取り、指定管理を公募する形になると思う。前向きに検討するとはいえ経営状況が悪化すればマイナスが増える。建物の買い取りには鑑定士の査定を入れて買い取り価格を出し、議会の承認を得るなど時間がかかる。収入はないが支払いは増える。もっとスピード感を持って判断しないとイケない。 もう1点。公設民営化しても我々の会社に指定管理させてほしいという要望である。経営者が同じなら経営改善は難しいのでは。
産業経済部長	市長に早く判断してもらおうよう、それに向けた資料整理をしているし、公設民営のためのスケジュールをにらみながら進めている。買い取りには不動産鑑定が必要だし、買い取るとなれば条例改正も必要である。まずはそれらがすみやかにいくよう、早急に市長と協議するための準備中である。 もう1点について。今までの借入の返済を引き継いだということもあるが、立地条件がよいので手法によっては収益が上がると思っている。今まで過剰な人員体制や労務管理の不徹底などいろいろ問われている。その辺の変革意識が欠如しているとは私も感じている。市も現社長の経営責任については考えないとイケない。
田畑副委員長	経営責任は絶対的に問わねばならない。公設民営化したからといって、経営者が同じなら状況が転じることはあり得ない。残って後方支援するならよいが、いずれにせよ、まずは市長に方向性を示していただきたい。
産業経済部長	おっしゃるとおり、体制を変えないと厳しいと思う。例えば今、市が施設を買い取っても4億1千万円の全ては回収できないだろう。そういうことも含めて検討したい。
牛尾委員	残り3千万円だから、本来なら今年の11月25日で完済だったところが1年半遅れているだけの話。しかし現社長は経費カット重視で、売り上げを増やす手腕はない。公設民営化の後も引き続き経営させてほしいという要望だが、彼には無理である。せめて経営トップくらいは変えないと。築30年の建物なので、単に買い取るだけでなくさらに修繕費もかかるであろうことを念頭に置かねばならない。ドル箱のうどんそばを切った。稼げると

田畑副委員長

ころを切るという経営感覚では無理である。

約4億円の負債を持っているところを誰がやるのか。現社長を更迭して新たな代表者で取り組んでいかないと、今までの流れを見ていけば、現社長の続投など誰も賛成できない。

川上委員長

皆には、公設民営のパターンに入っても仕方ないという思いがあるのか。

牛尾委員

買い取るコストがわからないと承服しかねる。

川上委員長

ここで判断しろとは言わない。執行部にしっかり調査していただく。固定資産評価額には大きな差はないだろう。また、経営者の変更は必ず求める。

布施委員

公設でも民営でも経営していかなければならない。売り上げを抜本的に変えられる人が立たないと、今のままでは同じことの繰り返しになる。道の駅なりの手法で経営改善をしっかりやっていただきたい。

上野委員

いろいろな道の駅を見てきたが、地域の人がうまく利用している。お魚市場との連携に力を入れたらよい。地元民が行きたい場所にしなければいけない。

牛尾委員

お魚市場と連携と言われるが客層が違う。お魚市場は観光客が多く、道の駅は通過型の客が多い。機能が違うので相乗効果を狙うとかえって難しくなる。協力し合うといえはきれいだが、それぞれが頑張るしかない。

上野委員

僕は、九州へ行くと帰りに必ず山口県の道の駅で海産物を買う。あのようになればよい。

田畑副委員長

魚と野菜の同時販売は難しい。

沖田委員

これだけ借入額があれば各金融機関もこの会社の動向は気になるところだろう。次の行動を起こすにはさらに金が必要。金融機関は今回公設民営の要望が出されたことは知っているか。市として金融機関と連携を取っているか。

産業経済部長

公設民営化の考えは金融機関も持っていると思うが、市の方向性はまだ決まっていない。市が公設民営に踏み切る場合どうするか金融機関も考えていると思う。

川上委員長

早急に各種調査をして結論を出し、進めていただきたい。委員からも要望や提案が出たので、それを踏まえていただきたい。

産業経済部長

市が取得することになれば建物の取得価格がどれくらいになり、どういう形で進めなければならないかを決めねばならない。指定管理をするにしても現経営者の責任追及は避けて通れない。市長と協議して進めていく。スムーズに進めるには時間がない。決定については早急にまとめないといけない。

牛尾委員

道の駅の機能はトイレと休憩所が基本である。その機能さえ残ればよい。道の駅の多くは経営が立ち行かなくなり数が減ってきている。今あるテナント云々を前提に考えるのではなく、この際白紙にして基本に立ち返ることも選択肢に入れるべきで

布施委員
商工労働課長

ある。

要望書の回答期限はないのか。

いつまでにとは聞いていないが、経営改善資金の返済猶予期限は決まっているので、当然それに間に合うよう対応しなければならぬ。要望の2点目、3点目への回答について期限は伺ってない。

布施委員

つまり大幅な利益は見込めないがコロナ禍といえども手法によっては利益を上げて細々とやれると取られる。相手の要望どおりに受けるのではなく、生き残る道を提示してあげることも大事だと思う。

川上委員長

たくさんの意見が出た。以上で議題1を終了する。執行部は退席されて構わない。

《 執行部退席 》

2. その他

川上委員長

委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

私から、先般話した水産業者との意見交換については現在調整中である。もうしばらくお待ちいただきたい。

以上で産業建設委員会を終了する。

[13時 59分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員長 川上 幾雄